



文 中東生
Text=Shinobu Naka

初来日アーティスト

フレッシュな若手からヴェテランまで、
イヤーの日本に初来日を予定している。
ら注目のアーティストをご紹介します。

多くの演奏家が2020年、オリンピック・
スイス在住のライター中東生氏が、そのなか

バブル経済が弾けても、世界のアー
ティストたちにとって日本は「行きたい
国」であり続けている。彼らは「素晴らしい
ホール群とハイ・レヴェルな聴衆に惹
きつけられるから」だと口を揃える。そ
んな初来日アーティストを紹介したい。

ルネ・バルベラ(T) (2月)

個人的に注目しているのはルネ・バ
ルベラだ。2017年12月、チューリヒ
歌劇場のドニゼッティ『連隊の娘』(演奏
会形式)で、ハビエル・カマレーナの代
役を務める彼を聴けたのは幸運だった。
どの音域でも輝かしい音色の声が超高音
ではより冴え、アリアで連続するハイC
(三音八音)も、常に微笑みをたたえなが
ら楽々と跳躍を楽しんでいた。当時は訪
日機会を探っていると書いていた彼は、
すでに音楽性もコミカルなキャラクター



ルネ・バルベラ(T)。18/19シーズンには
ウィーン国立劇場、ネザーランド・オペ
ラ、シャンゼリゼ劇場、ベルリン・ドイツ
・オペラ、ローマ歌劇場などに出演した

に創設されたこの管弦楽団は、作品の拡
大・縮小に臨機応変に対応できるよう、
レナータ・シユタイマンとエヴァ・ボ
ールヒがそれぞれコンサートマスターを
務める二つのオーケストラから成
り、その中には日本人奏者も含まれ
ている。ソロ・パートを歌える15人
の歌手と合わせて52名が名を連ねる
同合唱団とともに、J・S・バッハ
以外にもヘンデルやハイドン、ペー
トーヴェンの聖典や交響曲もレパ
トリーとし、作曲当時の演奏を再現
できる技術を持ちつつ、現代的な解

も兼ね備えており、新国立劇場のロッ
シーニ『セビリヤの理髪師』で演じるア
ルマヴィーヴァ伯爵にも期待が募る。

J・S・バッハ八財団管弦楽団・ 合唱団(9月)

創設者ルドルフ・ルッツ氏も、16年に
今回の初来日演目であるJ・S・バッ
ハ『ミサ曲』口短調を収録中、「バッハの
生地から遠く離れた日本でバッハ・コレ
ギウム・ジャパンのような世界に誇れる
バッハ演奏が生み出されているのは驚く
べき事実だ」と話してくれたのが印象に
残っている。J・S・バッハのすべての
声楽曲を演奏、記録するため2006年
に創設されたこの管弦楽団は、作品の拡

積を探る挑戦を楽しんでいるという。C
DやDVDも多数収録しており、彼らの
J・S・バッハ『カンタータ第22番』イ
エスは十二使徒をひき寄せ』は、アメリ
カのプログラムキング『Tonarts』の20
18年度ベストテンに入った。彼らは日
本に何をもちたらずのだろうか。

オリヴァー・シュニーター・ トリオ(10月)

トリオ名にはスイス人ピアノリストの名
を冠しているが、ヴァイオリンのアンド
レアス・ヤンケとチェロのベンヤミン・
ニツフェネガーはチューリヒ・トーンハ
レ管弦楽団員である。日本の血を引くヤ



2020年に結成8年目となるオリヴァー・シュニーター・
トリオ。最新録音ではペーターヴェンのピアノ三重奏曲
全集に取り組んだ © Marco Borggreve



フランス/ベルギー出身のカミー
ユ・トマ(vc)は、ソリストの活動だ
けではなく、室内楽にも熱心に取り
組む © Dan Carabas

ンケがコンサートマスターを務める当楽
団は今シーズンからパーヴォ・ヤルヴィ
を音楽監督に迎えるが、その記者会見に
も先輩コンサートマスターのユリア・ペ
ツカーではなく、彼が臨席するなど期待
が寄せられているのは、12年に結成され
たこのピアノ・トリオの成功と無縁では
ないだろう。室内楽、コンサートマス
ター両方での成長が見ものだ。

カミーユ・トマ(vc) (7月)

チェリストのカミーユ・トマは、小澤
国際室内楽アカデミー奨励賞の元受講生
が、そのスイス版として2005年に創
設した小澤征爾スイス国際音楽アカデミ
ーの受講生に2011、12年と連続で選
ばれ、室内楽の研鑽を積んだ後、数々の
賞を受賞している。来日公演でも小澤が
推奨する「室内楽的視点」が聴かれるこ
とだろう。